



# 武庫の宝

令和6年 6月号



三田市立武庫小学校長 大向 勲

## 《感動を「ありがとう」～第43回運動会を終え～》

5月25日（土）、絶好の運動会日和の中、最高に「笑顔で輝く」武庫っ子を見せてもらいました。何度か涙をこらえました。練習を見ているだけでもそういうことが何度かありました。それぞれがそれぞれの精一杯で取り組んでいる姿に、胸がいっぱいになってしまうのです。

コロナ禍でこれまで当たり前が当たり前ではないということを私たちは思い知らされました。そして知恵を出し合い、まさに子どもたちの笑顔輝く運動会を試行錯誤してきたはずです。私自身は過去、運動会といえば「整然」「規律」「一糸乱れぬ」を求めていました。今回の運動会の練習、当日を見ながら、もちろんその価値観も必要な場面はあったとしても、まずは子どもたちが心をひらき、笑顔で、その子なりの精一杯ができること、そして仲間に思いを馳せることこそが「感動」を生むのだな、「ありがとう」という気持ちになるのだなと思いました。

運動会の代休明けの火曜日、思いがけず警報発令となり、臨時休校となりました。翌日、校門で子どもたちの登校を待つ際、写真の「かんどうをありがとう！」メッセージを持ったおーむくんを片手に3日ぶりに出会う子どもたちとのあいさつをワクワクしながら待ちました。

子どもたちの笑顔はいつになく輝いているように見えました。「がんばったね～！」「おつかれさま！」「運動会の疲れはとれた？」…いろいろな言葉をかけながら子どもたちを出迎えました。もちろん、おーむくんのメッセージ、「ありがとう！」という言葉が一番たくさん伝えました。きょとんとしている子もいます。何がありがとうなんだろう？って思いますよね。でも「ありがとう」と言う言葉は、人を笑顔にします。幸せにつながります。散歩をされている方から声をかけてもらいました。ついうれしくて「子どもたちの運動会が素晴らしくて、だからこの言葉なんです！」と話しました。その方はしばらくの間、少し離れたところから私と子どもたちの様子をご覧になっていました。会釈されて離れられる時にも満面の笑顔でした…！子どもたち、保護者・地域の皆様、そして私たち職員、すべてが笑顔輝く武庫小になることを目指していきたいです。

